



2020年12月23日

第55回機械振興賞「機械振興協会会長賞」の受賞について

マツダ株式会社(以下、マツダ)と株式会社ワイテック(本社:広島県安芸郡海田町 代表者:山本 周二)は、新構造トーションビームアクスルとその高効率生産技術の開発において、第55回機械振興賞(主催:一般財団法人機械振興協会)の「機械振興協会会長賞」を共同で受賞しました。同賞は、機械工業にかかわる優秀な研究開発およびその成果の実用化によって、機械工業技術の進歩・発展に著しく寄与したと認められる業績に対して贈られる賞です。表彰式は2021年2月22日(月)に行われる予定です。



「新構造トーションビームアクスル」

このたび受賞した「新構造トーションビームアクスル」では、自動車のリアサスペンションでシンプルな構造と軽量・コンパクトさが特長のトーションビームアクスル形式をベースに、快適な車内空間と人の操作に対するクルマの挙動と人の感覚を一致させることで、自分の手足のように扱える運転感覚をお客さまに提供できるリアサスペンションを目指しました。従来の製法では、乗り心地に大きく影響するセンタービームを既製品の鋼管からプレス加工していたため、設計の自由度が低いという難点がありましたが、本技術では鋼板の板材からプレス成形することにより、トーションビーム中心付近の直径を細く加工してねじり剛性を低くし、車輪に近い両端部は大口径で剛性を高めた鋼管として製作することにより、しなやかな乗り心地と操縦安定性を高い次元で両立することができました。さらに、これらの鋼管の製作過程を汎用設備にて自動化することにより、コストの低減も実現した点が評価されました。

受賞対象: 「新構造トーションビームアクスルとその高効率生産技術の開発」

開発担当者:	川口 秀明	マツダ株式会社
	高橋 浩之	マツダ株式会社
	桑子 俊	マツダ株式会社
	中土 信之	マツダ株式会社
	江村 弘章	株式会社ワイテック
	宇都宮 翔	株式会社ワイテック
	國安 崇雅	株式会社ワイテック

同技術は、クルマとの心地よい一体感を実現する車両構造技術「SKYACTIV-VEHICLE ARCHITECTURE(スカイアクティブ ビークル アーキテクチャー)」に採用されており、新世代商品群「MAZDA3」「MAZDA CX-30」「MAZDA MX-30」に搭載されています。

マツダは、今後もクルマ本来の魅力である「走る喜び」によって、美しい「地球」と心豊かな「人」・「社会」を実現し、人の心を元気にすることにより、お客さまとの間に特別な絆を持ったブランドになることを目指してまいります。

以上

■ご参考

- 一般財団法人機械振興協会 web サイト
<http://www.jspmi.or.jp/>